



調べ学習紙芝居 シリーズ③

百科事典の引きかた

文：赤木 かん子



ちよつとネコちゃん、なに

見りゃわかるでしょ？

百科事典を引いてるんです

ええっ?! 百科事典を引く

引っぱることだっけ？



百科事典を引く、というの  
という意味ですよ。

引く、という漢字には、探

では、百科事典とはなに

ですが、百科事典とは

たくさん、しゅるいの

紙芝居をはじめの前に

- ① 順番があっているかどうか、必ず確認しましょう。
- ② 下読みをしてから、子どもの前で演じましょう。
- ③ 抜き方など、工夫が必要なところをチェックします。
- ④ 大きな文字になっているところは、ゆっくり、はっきりと読んでください。
- ⑤ 3巻でひとつのまとまりになっています。すべて目を通しておいってください。

こちらはサンプル画像です

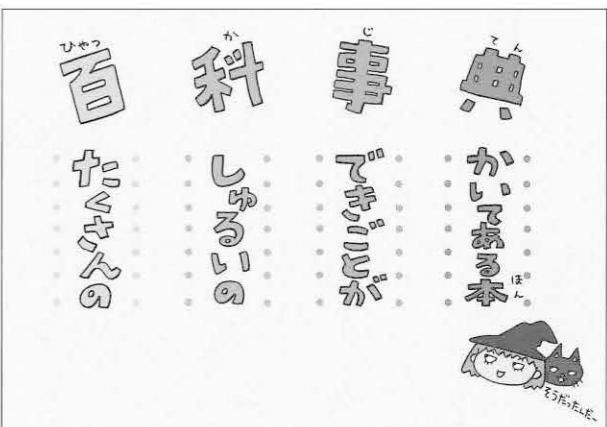
探して

ある本、です。

登場人物は、チビ魔女、猫、司書(あなた)の3人です。聞いていてわかるように演じ分けてくださいね。

表紙の題名の「引く」を指さしながら。

「たくさん」のときは絵も「たくさん」までが見えるようにここは、左方向に抜きましょう。



だから、なにかわからない  
いちばん最初に見る本



ひゃっかじてん  
百科事典！



そのとおり！  
では、その百科事典の使

(抜く)

(少)

こちらはサンプル画像です

つたとき

一口メモ

「巻」は「巻物」の「巻」です。巻物は長くなりすぎると巻きにくくなるので、適当な長さで切って、続きはつぎの巻物に書きました。ですから1冊の本は、普通何本もの巻物で、できていました。なので「巻」の字がつく、ということは、私は1人ではなく、仲間がいますよ、という意味になるのです。ある本に、55巻、と書いてあったら、少なくとも同じシリーズの本があると54冊あるんだな、ということがわかるのです。

定義については



を知らんください。



最初にみなさんにわかって

ここには本が12冊あるよう

本当は、1冊しかない、

なぜかというと、これを1

重くて、もてない？

そうです。だから大きな百

使いやすい大きさに分けて

この百科事典を使いやすい

たまたま12冊になりま

なので、まず順番がわか

背中のところの数字を

この数字の1、がついてる

1巻

と呼びます。

(抜く)

こちらはサンプル画像です

10メモ

この紙芝居ではそこ  
まで書けませんが、な  
にかを調べるときに  
一番最初に百科事典  
を見る、のは、百科  
事典のいちばん初め  
に、定義が書いてあ  
り、定義を読むとそ  
ことばがどういう意  
味なのかわかるから  
です。

たとえば、縄文時代  
を調べるときには、縄  
文時代、というのはな  
んなのか知ることか  
らはじめます。  
なので、なにか調べる  
ときに一番初めに見  
る本は百科事典なの  
です。

百科事典には18巻の  
ものもあれば1巻だ  
けのものもあります。

百科事典の背の数字  
を指さしながら。



百科事典は、できごとをあ  
だから、どの巻になにが  
あいうえおもつけまし



ほんとだ。1巻に、あ



だから百科事典は、自分  
どの巻に入っているか  
じゃ、練習ね。アルパカ  
アルパカは何巻に入っ



アルパカはあでは



大正解！ そうしたら、つ  
ここに色のマークがついて  
これは、じめ、よって  
早く探せるようにだれかが



ここに入っているのは、あ  
(抜く)

こちらはサンプル画像です

ります。

い。

絵を指しながら

絵を指しながら



アルパカの「あ」は、青?

そー! 川の青いところは

「あ」

ではじまることばです。

ね、あけるとわかるけど

「あ」の形を

ほんとだ〜。

そうしたら、つぎは、アル  
前と、まんなか、後ろの

えーと、あいうえお順だか

アルパカは「あ」のつぎが

けっごう、後ろのほうだと

そうしたら、後ろのほうを

(抜く)

こちらはサンプル画像です

子どもたちも一緒に  
考えられるようにあ  
まり急がず、ゆっく  
り間をとって語りま  
しょう。



テキストに開<sup>あ</sup>けます。



テキストでいいの？



いいの。



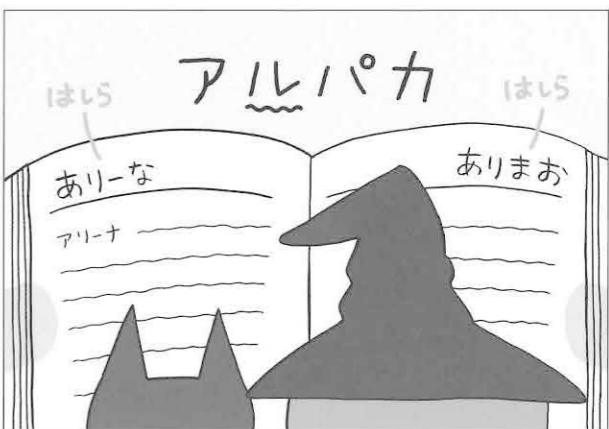
ほんとに、あいうえお順<sup>じゆん</sup>だ



じゃあ、青<sup>あお</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>黒<sup>くろ</sup>いの後<sup>うし</sup>ろ

(抜<sup>ぬ</sup>く)

こちらはサンプル画像です



テキストに開けました〜。

ページの上のところに、ひ

あるある。

これは「はしら」といっ  
左のページのいちばん初め  
右のページのいちばん最後  
書いてくれているんです。

これをだれかが考えてくれ  
百科事典はとっても早く引  
じゃあ、アルパカだから：  
アルパカはこの「ありーな  
前にありますか？  
後ろにありますか？

えっと〜、あり、ある、だ

もっと後ろのページだ！

(抜く)

こちらはサンプル画像です

?

「はしら」を指でさして  
左ページのいちばん上の  
単語と右ページのいちば  
ん下の単語を指でしめ  
してください。

少し間をあけて、  
「じゃあ…」に入りま  
しょう。



あった〜っ！



ありましたね！

百科事典はこうやって

背<sup>せ</sup>と<sup>せ</sup>つめ<sup>め</sup>と<sup>め</sup>は

を使うと

上手<sup>じょうず</sup>に早く<sup>はや</sup>！

引<sup>ひ</sup>けます。

百科事典は

いろいろなことが書<sup>か</sup>いてあ  
こんど、みんなも引<sup>ひ</sup>いてみ

(おしまい

こちらはサンプル画像です

です。

背、つめ、はしらを  
指<sup>さ</sup>して

百科事典は、実演がいちばんわかりやすく伝えられます。  
この紙芝居<sup>かみしばい</sup>を読んで、やりかたがわかりましたら、  
本物の百科事典<sup>ほんもの ひゃくかじてん</sup>を使って、子どもたちの目の前<sup>めまへ</sup>で  
实际<sup>じっさい</sup>に引<sup>ひ</sup>きかたを実践<sup>じっせん</sup>してみてください。